



利用者様の声



訪問看護ステーションの皆様にお世話になって早2年が過ぎました。毎日のリハビリ（散歩）にも頑張っています。毎日4回歩きます。一人では出来ない時も、看護師さんが来られて一緒に歩くと、気分的にも楽しく話しながらゆっくり出来ています。最近気分も良いので、でもシーズンが悪くなって（足元注意）落葉などで滑って危ない時もある。一人歩きの時は、注意しています。でも、看護師さんが一緒だと安心です。いつも有難う。



皆様にとって良い年でありますように…

大田市立病院 訪問看護ステーション スタッフ一同

天田市立病院
訪問看護
ステーション



おたより 発刊第 11 号

2016. 12

ニューフェイス



今年も残すところあとわずかとなりましたが、皆様にとって2016年はどんな年でしたか??

今年は猿、猪、熊の目撃情報が相次ぎ、農作物が荒らされる被害が急増しています。訪問へ向かう道中でも、猿の群れを見かけたり、猪が目の前に現れたいすることが何度かありました。熊は山を越え、道路を横切り、久手海岸にも現れたようです。散歩やジョギングをされる方は、鈴などの音の出るものを携帯するなど、ご注意ください。

さて、私事ですが、冬の訪問は、今年が初めて。雪道の運転に今からヒヤヒヤ、ドキドキと不安を抱いていますが、安全運転に心掛けていきたいと思います。

これから寒さが一段と厳しくなってきます。インフルエンザ等の感染症も流行していますので、日頃から手洗い、うがいをし、体調管理に気をつけましょう。私達自身も感染予防に努めながら、訪問していきます!!

文責 小野 綾

10月から訪問看護ステーションに配属になりました秋森 日出子です。訪問看護の仕事は、楽しく充実の毎日です。在宅医療を支えるために、今までの経験と知識が役立てたらと思っています。苦手な車の運転と道が覚えられず、戸惑っているところです。よろしくお願いします。

秋森 日出子

こんにちは! 9月から訪問看護ステーションに配属になりました福田美里です。岡山の看護学校を卒業し、その年に大田市立病院に勤務し、12年になります。当初は出雲から通っていましたが、25歳で大田に嫁ぎ、今では子供3人にも恵まれ、仕事と子育てに毎日奮闘しています。9月から利用者様のご自宅に訪問させていただき、道が分からず迷子になることもありましたが、今ではなんとか迷わずに訪問できるようになってきました。最近では大田の景色を見る余裕もでき、きれいな山の紅葉や海を見ながら、改めて大田の自然の良さを感じています。病院で勤務していた時とは違い、「在宅」という場所で利用者様やご家族様と色々なお話をしながら看護ができることに、とても魅力を感じています。利用者様が住み慣れたご自宅で安心して生活が送っていただけるように、日々努力してまいります。どうぞよろしくお願いします。

福田 美里



訪問看護実習を終えて

私は在宅診療に興味があったので、訪問看護に同行させて頂きました。実際に患者さんのお宅を訪問すると、そこには実際の家での患者さんの状態、介護をしておられるご家族の姿や生活環境など、ぐっと間近に見ることができました。看護師さんは患者さんのケアはもちろん、「ポータブルはこっちに置いた方が良くない?」といった療養環境へのアドバイスや、会話を通して患者さんやご家族の思いを親身になって聞いておられました。その姿をみて、地域密着型のこのようなサービスこそが実際の生活を支えているのだなと実感しました。実習を通して在宅医療の魅力を感じ、とても新鮮で貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

島根大学医学部5年 佐藤 美愛

11月15日から25日までの2週間、こちらで実習させていただきました。看護師の皆さんと一緒に同行させていただき、在宅で生活されている療養者様、ご家族様、また、その在宅生活を支える社会資源等について学習することができました。病棟での実習よりも、考える視野を広げ、療養者様、ご家族様を多方面から捉えることができました。訪問させていただいた皆様、ありがとうございました。

出雲医療看護専門学校
妹尾 莉奈

今回の在宅看護実習では、訪問看護の役割及び、利用者のニーズについて学ぶことができました。実際の場では、座学で学んだことよりも多様なニーズがあり、看護師の高度な知識と技術はもちろん、利用者を中心として、他職種との連携が重要であることを実感しました。今回実習で学んだことをいかし、今後も頑張っていきたいと思います。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

出雲医療看護専門学校
中尾 利樹

